

多治見市の青少年育成だより

～ 未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう ～

2026年
Vol.19

発行

多治見市青少年まちづくり市民会議
多治見市教育委員会事務局教育推進課

「多治見市青少年まちづくり市民会議」は、地域のイベントなどを通じ、子どもたちが楽しく過ごすことができるよう、さまざまな体験の機会や子どもたちが自分の考えを発表する場を提供しています。この青少年まちづくり市民会議は、青少年健全育成を推進するために平成5年に組織されました。その後、各13小学校区に「校区青少年まちづくり市民会議」が設置され、子どもに関する機関や各種団体と連携し、地域ごとの特性や特色を生かした活動を行っています。

重点活動として、「挨拶で絆の日」運動と花いっぱい運動の2つを行います。7月1日と11月1日に開催する「挨拶で絆の日」は、「挨拶によって絆を築くことができるまちをつくりたい」という子どもたちの意見から始まった挨拶活動です。また、「花いっぱい運動」は、花を種から育て、地域の方にその苗の「里親」になっていただくことで、地域の交流を促進し、きれいなまちをつくることを目的とした活動です。

この冊子は、青少年まちづくり市民会議の活動を紹介することで、より多くの皆さんに青少年まちづくり市民会議の活動をご理解いただき、子どもたちと行事に参加すること、子どもたちを守り育てることを地域で考えていただく機会になると考え、発行しています。



挨拶で絆の日

各校区青少年まちづくり市民会議の活動紹介

養正校区青少年まちづくり市民会議

養正交流センター開館記念
スプリングコンサート 9月21日



養正地区防災イベント 10月11日

『今そこにある危機 南海トラフ地震発生！
あなたは何をしますか？何が出来ますか？』



こころあったかクリスマス
サンタさんからのおくりもの 12月13日



今年度から養正公民館が交流センターに変わり、
養正交流センターと共催事業を開催してもらいました。

養正交流センター祭り 11月8日
「おぼけやしぎ」を行いました。



もちつき体験&来てからの楽しみ大会 1月18日



精華校区青少年まちづくり市民会議

精華校区は、市民会議の活動を通じて青少年が育つ環境づくりに心がけて事業を進めています。年度当初の「総会」に始まり、「私の主張大会」、「親子工作」、「夏祭り」、「餅つき大会」、「ふれあいフェスティバル」、「書初め大会」等の行事を40名の精華ぼらんていあキッズが運営スタッフの一翼を担います。司会進行、受付、作品作りの先生役、ゲームの設営、来場者の整理等、多方面で活躍します。大人の指示のもとで動く場面もありますが、「夏祭り」では、お子さんが楽しめるゲームづくりをぼらんていあキッズが全て担います。「親子工作・ふれあいフェスティバル」では、作品を事前に自分たちが作り、本番では講師役となって小さなお子さんたちの作品作りの面倒を見ています。ぼらんていあキッズからは、こうした活動を通して、「参加者の笑顔が見られてよかった」「行事を続けていく大切さがわかった」「大きくなったらスタッフとして活動したい」「地域のつながりを感じることができた」等の感想を毎年いただいています。ぼらんていあキッズの中には、小学生から始めて、中学、高校、大学生になっても時間を見つけて手伝いに来てくれる青年もいます。塾や習い事、クラブ活動等、現代のお子さんたちは多忙な毎日を送っていますが、異世代と触れ合える市民会議の活動を広くPRし、微力ではありますが青少年が地域とともに成長するお手伝いができればと思います。



集合写真



受付



夏祭りゲーム



共栄校区青少年まちづくり市民会議

共栄校区では、今年度5つの事業を計画し、すべて無事に実施しましたが、どの事業も市民会議のメンバーだけでは運営ができませんので、毎年各町内会から選出された青少年委員さんに事前準備から当日のお手伝いをお願いしています。毎年、誠にありがとうございます。

さらに、今年度からは、共栄小学校の皆さんに子どもスタッフとして、私どもの事業に参加いただく様をお願いしたところ、10名の生徒さんが立候補してくれました。

今年度の共栄校区まちづくり事業のうち、「わたしの主張2025」「灯籠づくり」「共栄校区ふれあい文化祭」に子どもスタッフとして、活動していただきました。

このように、共栄小学校の生徒の皆さんにもスタッフとして、まちづくり市民会議が主催する各事業に参加していただくことで、今年度の事業を実施することができました。一方で、市民会議メンバーは、共栄小学校が行った年間事業のうち、高田川で実施された「ガサガサ探索」や「小学校運動会開催前のグラウンドの除草作業」などの事前準備作業に協力しました。

今後も、共栄小学校や地域住民の皆さんと力を合わせて、子どもたちが楽しく過ごすことができるような共栄校区の健全育成活動を行ってまいります。



小学生子どもスタッフメンバー



わたしの主張2025



灯籠づくり



共栄小学校 ガサガサ探索

昭和校区青少年まちづくり市民会議

令和7年度の昭和校区のトピックスは、まず『第二十回 百人一首かるた取り大会』です。

これまで、会場はTYK体育館の柔道場を使用してきましたが、暖房器具の持ち込みが不可となり、また第12区辺りの子どもたちにとっては開催場所が遠すぎるとのご意見もいただいておりますので、今回から昭和小学校の体育館での開催となりました。

こちらでは大型の石油ファンヒーターを3台稼働させて寒さ対策もでき、場所も小学校なのでこれまでの問題点は解決しました。ただし床が板張りなので体育館倉庫にある畳を使って3畳を小島のように配置しましたが、参加人数によっては畳が不足するので、ウレタンマット等の導入を検討する必要があります。

もう一つのトピックスは『ハッピースポーツディ』を毎年恒例行事として10月に昭和小学校の体育館で行いました。

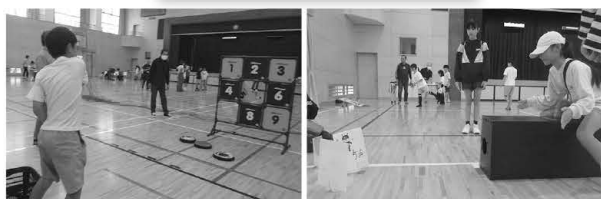
多治見市の文化スポーツ課で道具を借りた4種目と、市民会議で考えたオリジナルゲーム2種目、そして中央児童館さんのご協力によるゲームで多くの方々に楽しんでいただきました。

10月の初旬はまだ残暑が厳しいので、開催時間は午前中とし、水分補給のためのスポーツドリンクも準備して、熱中症にならないよう配慮したものとなりました。

地域で輝く子供達のために、子供達とよく話をして、健全育成活動をこれからも継続していきます。



百人一首かるた取り大会



ハッピースポーツディ



小泉校区青少年まちづくり市民会議

小泉校区では「書き初め大会」を1月4日に小・中学生を対象に実施しました。

今年度も小学校の低学年用に硬筆の準備をしていましたが、1年生のお子さんも含めて全員が毛筆で書き初めを行いました。子どもたちは、「へんじ」「正月」「成長」「新しい風」「百花繚乱」「大願成就」等、それぞれが考えてきた言葉を半紙にしたためました。

書いた言葉は、学校や習い事で練習してきた言葉の他、願いのこもったものもありました。例えば、自分の大好きなスポーツを頑張りたい気持ちを込めて「バスケ」と書いた子や、自分の夢を叶えたいという気持ちをこめて「大願成就」と書いた子がいました。

作品は公民館のホールに展示して、来館者に自由に見ていただけるようにしました。新年の初めに願いを書くことで自分の気持ちが清められるとともに、作品を見た人にも元気を与えられるそんな「書き初め大会」になったと感じています。

皆さんも子どもたちが書いた作品を見る際には、どんな願いをもってその言葉を選んだのか、どんな思いで筆を運んだのか想像してみてください。きっと暖かな気持ちになると思います。



池田校区青少年まちづくり市民会議

事業としては例年とほぼ同じでありましたが、池田小学校親子ふれあい事業は昨年度とは趣向が変わりました。ここ数年は映画観賞会を企画しており、昨年はファミリーアドベンチャー「FLY」を上映しましたが、本年度は11月8日にIKEDA MUSIC FESTIVALと題し、音楽を中心として開催しました。平和中学校吹奏楽部 小泉中学校ブラスバンドクラブの演奏から始まり、地元で活躍するユニットの歌と演奏、午後は多治見ダンスクラブのダンスパフォーマンス。小6バンド・中1バンド・PTAバンドの歌と演奏と盛りだくさんでした。グラウンドにはキッチンカーも出て大盛り上がりの1日でした。

7月1と11月4日には街頭活動「挨拶で絆の日」として小学校の坂下にて挨拶運動を行い、児童たちと元気な声で挨拶を交わしました。

5月31日には「わたしの主張大会」校区大会を開催しました。いずれも発表者の気持ちの入った素晴らしい主張で甲乙つけがたかったです。

12月13日には毎年恒例の和だこ作りを開催しました。作ったたこはお正月に小学校のグラウンドで上げたいと一生懸命作っていました。

池田小学校区としては今後も親子ふれあい事業のように新しいものを取り入れると同時に和だこ作りのような伝統の継承も大切にして活動したいと考えます。

最後に本年度の役員の方皆さん、校区区民の皆様や子供たちのご協力に感謝申し上げますとともに今後の活動にご理解ご協力をお願いいたします。



親子ふれあい事業



挨拶で絆の日



わたしの主張大会



和風作り

市之倉校区青少年まちづくり市民会議

市之倉校区では、11月に「親子交流スポーツ大会」として、パークレーンズでボーリング大会を開催しました。幼児の参加もOK、中学生の子どもスタッフにも参加を呼びかけました。

当初の申し込みは50名超でしたが、インフルエンザが蔓延し学級閉鎖もあり、欠席者が続出しました。それでもパークレーンズの方は何度もレーンの名前を変えてくださり、当日のゲーム分のみ支払いをしました。神対応に感謝致します。

家族や友達も交えて楽しみ、盛り上がっていました。中学生は友だちと勝負して一喜一憂、「もう1ゲームやらせてください」とわざわざ頼みにきた生徒もいました。

2月には、パロー文化ホールで開催された「青少年まちづくり市民大会」で市之倉校区が発表しました。子どもスタッフに手を挙げてくれた児童生徒が、当日、会場まで駆けつけてくれて、無事に発表ができました。

行事に参加して下さった皆さまと支えて下さっている青少年委員と役員の方々に感謝申し上げます。



滝呂校区青少年まちづくり市民会議

滝呂校区では、令和7年度から「こども会議」のジュニア委員として高校生9名、中学生2名の合計11名が参加し本格的に活動を始めました。

わたしの主張滝呂校区大会では、進行用のパワーポイントのデータ作りやAIを活用したラップ調のテーマソングも作詞作曲し、開会式や休憩時間に流していました。アトラクションでは、ダンスパフォーマンスを取り入れたり、イントロクイズをしたりするなど、今までに無い新しい試みを取り入れてジュニア委員が主体となって頑張ってくれました。なお司会や舞台係、写真撮影や記録係、受付はいつものように多治見中学校の輝き隊10名に努めて頂きました。

さかなつかみ大会でもジュニア委員を中心に輝き隊と協力して、さかなが取れなかった子のために一生懸命網を使ってとってあげていました。

「花いっぱい運動」の花壇の世話も水やりの順番を決めてくれたり、猛暑の中でも草刈り整備をしてくれたりして大事な戦力となっています。

ふらっとスポレクにおいてもジュニア委員と輝き隊で参加してくれた子ども達のお世話を大人の委員とともにやってくれていました。

そして滝呂地域力向上委員会主催の「滝ブラ」にジュニア委員がライブの企画を持ち込み、29区の文化祭実行委員のご協力を頂きながらもジュニア委員単独でのライブも行いました。この様に高校生のジュニア委員がリーダーとなって「こども会議」を引っ張り、滝呂校区青少年まちづくり市民会議の活性化を図ってくれるようになりました。今後も「こども会議」のジュニア委員の活躍に大いに期待しているところです。



主張大会



魚つかみ大会



花いっぱい運動



滝呂ブラブラLIVE



南姫校区青少年まちづくり市民会議

今年度は、南姫校区では下記の5つの事業を実施しました。

1. 南姫校区わたしの主張大会：5月31日(土)
2. サマーわんぱくまつり：8月24日(日)
3. ひめっこ映画会：
11月16日(日)→2月7日(土)へ順延
4. どんど焼き：1月18日(日)
5. 挨拶で絆の日：7月1日(火)・11月4日(火)

ひめっこ映画会は、11月中旬に南姫校区にてインフルエンザが蔓延したため、2月7日(土)に順延して実施しました。『怪盗グルーのミニオン超変身』のアニメを南姫公民館の大型スクリーンに投影して見ることができ、みなさん大変好評でした。

サマーわんぱくまつりは、今年度は地域のお年寄りの方のご協力で、紙芝居を実施し、子供たちに大変好評でした。夏休みの大変暑い中、南姫公民館の冷房に効いたところで、夏休みの楽しい思い出作りができました。

どんど焼きは、冬の暖かい陽気の中、地域の多くの方々に参加して頂き、豚汁と紅白餅の無料配布し、豚汁を美味しく頂いておりました。また、南姫公民館の大ホールにて、南姫公民館と南姫児童センターのご協力にて、子供たちのあそびコーナーを実施しました。

南姫中学校のボランティアが各行事にご支援頂き、一緒に行事を実施することが出来ました。



サマーわんぱくまつり



どんど焼き



南姫校区わたしの主張大会



ひめっこ映画会



挨拶で絆の日

根本校区青少年まちづくり市民会議

根本校区では令和7年度活動計画で24事業活動を総会にて提案し承認されました。恒例事業の「みんなで芋苗植え」「わたしの主張校区大会」「挨拶運動」「子ども座禅会」「夏の遊び広場」「根本川で魚つかみ」「いもの収穫祭」「餅つき大会」「リース・しめ縄作り」「昔遊び・大判カルタ取り」「歩こう遊ぼうクイズ王決定大会」等、校区各自治会の青少年委員・区役員・交流センター職員・小中学校等の共催・協賛で各事業が実施できました。子ども達の提案も多く、緊密に連絡調整の環境が整いつつあります。広報活動では、自分達で原稿を作成し小学校で放送するなど、従来の広報チラシ等の既存媒体も活用し、事業開催の周知に工夫が見られました。事業の参加者数からすると今一層の工夫が必要と考察した一年でした。少子高齢化は確実に波になって来ておりますが、諸団体との連携から校区全体に育成活動の絆は着実に広がりを見せています。



北栄校区青少年まちづくり市民会議

北栄校区青少年まちづくり市民会議は、子どもたちと地域の大人が目的を同じにして活動できるような事業に取り組んでいます。

今回は「花いっぱい運動（花の里親運動）」について紹介します。

花いっぱい運動には、幼稚園・小学校・中学校・公民館などが参加し、ボランティアと市民会議の子どもスタッフ共に花壇やプランターに花を植え、満開になる時を楽しみに待ちます。

年に2回は中学校で行い、「校内の中庭を花で飾り、お客さんを迎えよう」の声掛けのもと、中学生ボランティア・PTA・市民会議が一緒になってプランターに花を植えました。花言葉の「誠実 清潔」そして「わたしを思って」の説明に子どもたちは照れてざわついて盛り上がっていました。

11月には、市民会議の事業「子どもの文化祭（作品展）」と同じ日に「花の里親運動」として、地域の皆さんに子どもスタッフが花苗を無料で配布します。



「水やり等をして大切に育てて下さい」と地域の皆さんに声を掛

けると、地域の方からは「ご苦労さん」「有り難う」「頑張って」と声を掛けてもらい、自分たちの頑張りに少し自慢顔の子どもスタッフでした。

今後も市民会議の取り組んでいる事業を大切にして、地域の大人たちが子どもたちと一緒に、安心して安全に暮らせるまちづくりを進めていきます。

脇之島校区青少年まちづくり市民会議

令和7年度、脇之島校区青少年まちづくり市民会議では「未来を担うこどもたち 地域で守り育てよう」を基本方針に掲げ、子どもたちの主体性を尊重した事業を展開しました。

今年度、新たな挑戦としてスタートしたのが、ふれあいセンターわきのしまとのコラボによる「ロードサポーター事業」、地域清掃活動への参加です。この事業では、子どもたちが大人と協力して「地域美化のリーダー」となり、通学路や地域のごみ拾いを行いました。子どもたちの目線から大人の視界では目が行き届かない植込みの中や、側溝の中にまで、トンゴを手手に熱心にごみを集め、「自分たちの手で街をきれいにする」という達成感に満ちた表情は非常に頼もしく、住民の方々からも温かい激励をいただくなど、地域に新しい交流の輪が広がりました。

また、恒例の冬季の凧揚げ大会や区民大会では、アドリブを活かした司会で会場を盛り上げたり、低学年の児童を優しくサポートしながら運営に当たりました。こうした「自ら考え、助け合う」経験を通じて、責任感とリーダーシップが目に見えて育っています。

今後も、子どもたちの「やってみよう」という意欲を尊重し、地域全体でその成長を支える活動を続けてまいります。



笠原校区青少年まちづくり市民会議

わたしの主張笠原校区大会を行いました。

中学生4名、小学生4名が発表、13名のボランティアスタッフが司会、受付係などで活躍してくれました。笠原中陶都中吹奏楽クラブの皆さんの合同演奏も素晴らしかったです。中学校体育館での最後の開催になり、思い出に残る大会になりました。



花いっぱい運動を小中学生のボランティアスタッフと一緒に、春、秋2回行いました。

種まきから苗の移植まで、みんなで育てた苗は、地域の方や施設に配りました。



挨拶で絆の日

町内8ヶ所で民生児童委員、区役員、PTA、市民会議の皆さんと辻立ちをし、青パトで町内を巡回しました。子どもも大人も元気に挨拶していました。



お正月フェスティバルを行いました。

笠原交流センターと協力して、射的、プラバン、昔遊び、けん玉体験、ジャンボかるた取り等、多くの地域の方に楽しんでいただきました。中学生のボランティアの皆さん、お手伝いありがとうございました。



わたしの主張2025 多治見市大会

令和7年6月14日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「わたしの主張2025 多治見市大会」を開催しました。

市内13小学校区の「わたしの主張 校区大会」において最優秀賞を受賞した小学生、中学生各1名、合計26名が多治見市大会に出場し、世の中の情勢について、未来への提案、家庭や学校生活、友だちとの関わりなどを通じて感じたことなどをテーマに、思い思いの主張を繰り広げました。

来場者からは、子どもたちの活躍に対し、「どの子も一生懸命に主張を発表している姿に感動した」、「小・中学生の今の時代の考え、思いを知る良い機会となった」などの素敵な感想をいただきました。また、当日は、中学生のボランティアが運営を補助してくれたほか、アトラクションとして北陵中学校吹奏楽クラブの皆さんが演奏を披露してくれるなど、多くの子どもたちが関わってくれました。



最優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	水野 彩翔	脇之島小学校	6年
中学生の部	社本 佳穂	多治見中学校	3年

優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	ファウスティノ セリカ	笠原小学校	6年
	天野 大輔	北栄小学校	6年
中学生の部	續木 翔太	南姫中学校	3年
	原 史織	小泉中学校	3年

多治見市青少年まちづくり市民大会

令和8年2月21日に、多治見市バロー文化ホールにおいて、「多治見市青少年まちづくり市民大会」を開催しました。

市民大会では、市内13小学校区にある校区まちづくり市民会議が順番で活動報告を行うこととしており、令和7年度は、池田、市之倉、滝呂の3校区が活動内容を報告しました。各校区の活動報告は、子どもたちが中心となって準備から行っています。リハーサルを重ね、当日は各校区の特色ある活動を堂々と報告してくれました。また、会場入口には全校区の活動を紹介するパネル展示も行い、各校区の活動を広くPRしました。

当日は、活動報告を行ってくれた子どもたちの他にも、中学生ボランティア、アトラクションとして演奏を披露してくださった多治見中学吹奏楽クラブの生徒の皆さんなど、多くの子どもたちが関わってくれました。



令和7年度青少年育成功労者表彰

令和8年2月21日に、バロー文化ホール小ホールにおいて、青少年育成功労者表彰式を開催しました。

この表彰は、青少年健全育成や住みよいまちづくり活動に特に顕著な功績のあった個人、団体を多治見市青少年まちづくり市民会議会長（多治見市長）が表彰するものです。令和7年度は、個人11名が受賞されました。

なお、表彰式は、令和7年度から、青少年まちづくり市民大会内で開催することとしています。



令和7年度受賞者一覧

- 池田校区……野村 茂樹
- 市之倉校区…井上 千鶴、長谷川 良子、堀尾 尚美、前田 美紀
- 昭和校区……鈴木 恵理子
- 根本校区……岩井 正樹、加藤 照雄、若尾 巧
- 南姫校区……根崎 哲也、吉村 勝明

多治見市青少年まちづくり市民会議事務局

〒507-8787 多治見市音羽町1丁目233番地
 多治見市教育委員会事務局 教育推進課内
 TEL: 0572-23-5904 (課直通) FAX: 0572-23-5862
 メール: kyoiku@city.tajimi.lg.jp

「青少年育成だより」は13,000部発行し、1部あたり15.4円で印刷しています



植物油インキを使用しています。
 ※この印刷物を廃棄する時は、燃やさないで資源回収などに出しましょう。